

【6】天神地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

“お茶の間トーク”ってなに？

もっと住みやすい天神のまちにするために、地域の人々が、2回にわたっていろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

参加者の皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、大人も子どもも一緒に、まちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

第1回

テーマ：地域のことを見つめ直そう！

～ 地域について考えるきっかけづくり ～

日 程：平成19年2月3日（土）

内 容：●お茶の間クイズ

●地域マップづくり

●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは天神地区にちなんだクイズや、大きな地図の中から学校や施設を探すマップづくりに、グループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う天神地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加した皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見するいい機会になったようです。

※下のような意見が多く出されました。



【よかところ】

- 景色がよい（海、山、夜景など）
- 子どもたちがよくあいさつをする
- 自然に恵まれていて過ごしやすい
- 行事が多く参加する人も多い

【気になるところ】

- 坂が多く、高齢者が歩くのは大変
- ごみ出しのマナーが悪い
- 道が狭く緊急車両などが入らない
- 交通量が多いので歩行者が心配

\\ 皆さんも天神地区“お茶の間クイズ”に挑戦してみましよう！ //

問1 天神町にある「クリーンピュアとどろき」は、平成18年4月に供用が始まりました。高負荷脱窒素処理方式という方法で処理されていますが、1日どれくらいの処理能力があるでしょうか？

- (1) 260kℓ (2) 350kℓ (3) 480kℓ

問2 昭和46年、天神小学校には何人の生徒がいたでしょうか？

- ① 1,433人 ② 1,752人 ③ 1,530人



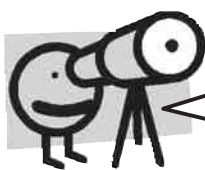
※答えはP8の下にあります。

第2回

テーマ：地域みんなにできることを探そう！
～ 小さなことでも地域のために～

日程：平成19年3月3日（土）

内容：●グループ対抗発想ゲーム
●気になり具合診断
●みんなにできることを探そう



第2回もまずはゲームなどで交流した後、前回出された「気になるところ」の中から、皆さんの関心が高い問題を選びました。

さらに、その「気になるところ」を解決するために、「地域みんなにできることはないのか」が話し合われました。

グループごとにいろいろな世代の方から、自由に、そして熱心に意見が出されていました。

※出された意見を下にいくつかご紹介します。

【問題】

ごみのポイ捨てが多い



【“みんなにできること”の意見】

- 町内会や子ども会でクリーン作戦（ごみ拾い）
- みんなが捨てないように心がける
- ポスターなどで意識づけを行う

参加した皆さんの感想から

- 各町内、夏休みなどに子どもたちと一緒に出来たら良いと思う。
- 自分が住んでいる町なのに知らないことがいっぱいなのでもっと周りを見てみようと思った。
- 限られた時間だったが各参加者が真剣に考えていて良かった。
- 住民一人ひとりが、どうすれば住みやすい町になるかと考えて欲しい。

“お茶の間トーク”のねらいはこういうところにもあります。



まずは、天神地区の皆さん一人ひとりが、地域をよくしたいという気持ちを持ち、“できること”を考え、取り組むことが大切です。

この“お茶の間トーク”での意見をもとに、福対協が中心となってまとめた、次のページの**“みんなの力でできること”**をぜひ実行していきましょう！

